

キッチンには、さまざまなヒヤリ・ハットや危害が潜んでいます。

コンロ回りでは、着火や引火に特に注意！

衣服に着火



●コンロの火をつけたまま、鍋を交換しようと思って腕をコンロの上方に伸ばして袖口を焦がしてしまいました。

毛髪に着火



●タバコをくわえながらガスコンロで火をつけようとしたら前髪に火がぼっとついた。

グリル用石が発火



●グリルで秋刀魚を焼いているときグリル用小石に火がついてびっくりした。消火法もわからず、あわてて濡れタオルをかぶせ、元栓を止めた。

殺虫剤のガスに引火



●ガスコンロの火をつけているのに殺虫剤をゴキブリに噴射し、一瞬鍋の周辺が燃え上がった。

油に引火



●天ぷらを揚げていて目を離したら油に引火して炎が上がった。

換気扇フィルターに着火



●アサリのパスタを作るのにワインを入れたところ発火し、換気扇のフィルターに着火した。

アルミ製パネルの油に着火



●野菜炒めを作っているときに油揚げに付着していた油に引火した。あわてて油揚げを外し、水をかけて消火した。

キッチンでの事故防止のポイント

- キッチンの設備や道具類の取扱説明書や包装の表示には、様々な情報が記載されています。使用前には目を通し、安全な使用方法を理解しておきましょう。
- コンロ回りでは、ちょっとした油断が重大な事故につながる場合があります。燃えやすいものを周辺に置かないなど事故防止に力を入れるとともに、万一のために火災警報器や消火器を設置することが重要です。
- 炊飯器など高温となる家電製品は、子供の手の届かないところに置いて使用しましょう。

このほか、キッチンでは、次の点も忘れずに。

- ガスコンロ使用時は必ず換気扇を回して効率よく換気しましょう。
- 吊戸棚にストッパーを設置するなど地震対策も大切です。
- 食中毒予防に関する知識を深め、キッチンを清潔で衛生的に保ちましょう。



★キッチンでの事故防止のポイントをまとめた「キッチンでの事故防止ガイド」は、くらしの安全情報サイトからダウンロードできます。

事故にあわれた時、商品やサービスに原因があると思われる場合には、消費生活センターなどの相談機関に申し出ましょう。

東京都消費生活総合センター **03-3235-1155** 受付時間 月～土 9:00～16:00
またはお近くの消費生活センター

「くらしの安全情報サイト」をぜひ、ご活用ください！「くらしの安全情報サイト」<http://www.anzen.metro.tokyo.jp/>
くらしの安全情報サイトでは、商品・サービスを中心とした危害・危険・安全性といった情報を提供しています。
(財)日本中毒情報センター、各PLセンター、区市町村の消費生活相談窓口等「くらしの安全相談窓口一覧」も掲載しています。

掲載内容についてのお問い合わせ先 **東京都生活文化スポーツ局 消費生活部生活安全課 03-5388-3082**

このページは、東京都と東京都生活協同組合連合会の協働事業により掲載しています。